

# 国語科の学習案内

## 学習のねらい

- ・考え方を、自分のことばで話したり、書いたりする力をつけます。
- ・言葉の使い方や文章を正確に理解する力をつけ、伝え合う力を高めます。
- ・言語に対する感性を養い、国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てます。

## 学習内容

低学年	<p>◎事柄の順序に気をつけながら進んで話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、順序良く書いたりしようとする態度を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○想像を広げながら楽しんで読書する。</li> <li>○声の大きさや速さなどに注意してはっきりとした発音で話す。</li> <li>○書いた文章を読み返す習慣をつけ、間違いを正す。</li> </ul>
中学年	<p>◎段落相互の関係を考えながら工夫して話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、段落相互の関係などに注意して書いたりしようとする態度を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じて、幅広く読書する。</li> <li>○相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話す。</li> <li>○文章の敬体と常体との違いに注意しながら書く。</li> <li>○簡単な単語をローマ字で読んだり書いたりする。</li> </ul>
高学年	<p>◎目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、構成を考えて書いたりしようとする態度を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書を通して考えを広げたり深めたりする。</li> <li>○共通語と方言の違いを理解し、場に応じた適切な言葉遣いで話す。</li> <li>○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。</li> <li>○親しみやすい古文や漢文などを音読する。</li> </ul>



## 評価のポイント

【知識・技能】	授業中の取り組みの発表や発言の内容、スピーチの内容や話し方、聞き取り方、話し合いの様子、テスト、ワークシートから評価します。 漢字や言語に関するテスト、プリント、書写やノートの文字などから評価します。
【思考・判断・表現】	授業中の課題やノートの内容、発表や発言、スピーチの内容や話し方、聞き取り方、話し合いの様子、テスト、ワークシートから評価します。
【主体的に学習に取り組む態度】	国語に関する興味や意欲を授業中の態度や発言、ノートやプリント、読書、音読、その他の家庭学習の取組の様子から評価します。

## ご家庭へのお願い

低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせをしたり、一緒に読書をしたりして読書の楽しさを味わう機会を作ってください。</li> <li>○家庭での音読では、言葉としてのまとまりを考えながら、すらすらと読めるか確認をしてください。</li> <li>○家庭で文を書くときは、促音・撥音、「は」「を」「へ」が正しく書けているか、<u>鉛筆を正しく持つこと</u>ができているかを確認してください。</li> <li>○伝えたいことを簡単な手紙に書く機会を家庭でも一緒に設けられるとよいです。</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭での音読では、内容をとらえながら読むことができているか、確認をしながら聞いてください。</li> <li>○家庭でも簡単な単語をローマ字で書く練習をして下さい。(3年生)</li> <li>○家庭でもことわざや故事成語などについて話す機会を一緒に設けられるとよいです。</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭の音読では、内容や要旨をとらえながら読んでいるかを、確認しながら聞いてください。</li> <li>○家庭でもノートや作文で今まで習った漢字が正しく使われているかの確認をお願いします。</li> <li>○家庭でも伝記を読んだり、親しみやすい古文や漢文に触れたりする機会を設けられるとよいです。</li> </ul>